



平成 28 年 11 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社プラザクリエイト
 代表者の役職名 代表取締役社長 大島 康広
 (JASDAQ コード番号 7502)
 問 合 先 常務取締役管理本部長 村瀬 伸行
 T E L 0 3 - 3 5 3 2 - 8 8 2 6

営業外費用の計上及び平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績の業績予想との差異
 並びに平成 29 年 3 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成29年3月期第2四半期累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）におきまして、営業外費用の計上と、平成28年5月13日に公表しました平成29年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と本日公表の実績に差異が発生しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、平成29年3月期通期の連結業績予想につきましても下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外費用の計上及びその内容

平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績において、持分法適用関連会社であるシンプレスジャパン株式会社の決算報告に基づき、持分法による投資損失 2 億 77 百万円を計上します。

2. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想と実績との差異

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回業績予想 (A)	百万円 9,000	百万円 △400	百万円 △550	百万円 △600	円 銭 △44.00
今回実績 (B)	9,270	△625	△863	△780	△57.25
差異額 (B - A)	270	△225	△313	△180	
増 減 率 (%)	3.0	-	-	-	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	8,404	△726	△910	△994	△72.01

3. 平成 29 年 3 月期通期の連結業績予想

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
前回業績予想 (A)	百万円 22,000	百万円 500	百万円 200	百万円 100	円 銭 7.33
今回実績 (B)	22,000	400	100	100	7.33
差異額 (B - A)	-	△100	△100	-	
増 減 率 (%)	-	△20.0	△50.0	-	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	21,003	△139	△563	△832	△60.47

4. 差異が生じた理由

当第2四半期累計期間におけるプリント事業の売上高は、「フォト&モア」店がほぼ前年並みでありましたが、既存店全体ではVistaprintブランド製品の遅れなどで前年比96%で推移しました。他方、モバイル事業の売上高は、店舗数増加に伴う販売台数の積み上げによりストック収益（継続手数料収入）が増加し堅調に推移したため、売上高が期初予想を2億70百万円上回る92億70百万円となりました。

プリント事業では、既存店売上高の減少の影響に加えて、店舗システム刷新等の先行費用及び店舗従業員の増強に伴う人件費等が増加したため、営業利益が期初予想を2億25百万円下回る△6億25百万円となりました。

上記営業利益に加えて営業外費用として持分法による投資損失を2億77百万円計上したため、経常利益が期初予想を3億13百万円下回る△8億63百万円となりました。

上記営業外費用の計上の一方で、投資有価証券売却益や受取補償金等の特別利益を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益が期初予想を1億18百万円下回る△7億80百万円となりました。

5. 修正の理由

通期業績予想につきましては、売上高については、モバイル事業は引き続き好調に推移すると見込まれる一方で、プリント事業は、既存店売上のプリント需要減少の影響をカバーするため、年賀状プリントとVistaprintブランド製品の投入を見込んでおります。具体的には、今年から年賀状の出足を促すため超早割りサービスを開始し好調なスタートを切っております。また、第4四半期に向けてシンプレスジャパン㈱とVistaprintブランド製品の開発に取り組んでおります。これらの施策により売上高は、期初予想通りの220億円を見込んでおります。

営業利益については、上記の施策で利益の上乗せを見込んでおります。しかしながら、当第2四半期累計期間の業績修正の影響をカバーできないことが見込まれることから期初予想を1億円下回る4億円に修正いたします。

経常利益については、上記の営業利益により期初予想を1億円下回る経常利益1億円に修正いたします。

親会社株主に帰属する当期純利益については、期初予想通りの1億円を見込んでおります。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上